



基本構想

愛媛県総合教育センターの研究の目的

学校教育に関する専門的、技術的事項の調査・研究を行うとともに、その成果を調査・研究発表会や研修講座等を通じて教職員に還元することによって、学校教育の改善に資する。

1 研究主題

「未来を創造する力を育む学校教育への総合的な支援」

2 研究主題設定の理由

A I などの先端技術の実用化が現実のものとなり、Society5.0時代の到来がうたわれる現在、私たち一人一人が、あるいは、社会が、変化の激しい時代の中で、答えのない問いにどう立ち向かうかが問われている。そうした中、この2年にわたり、我が国をはじめ世界は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に直面することとなった。私たちの日常生活は大きく変化し、そこから生起する諸問題は、国内外を問わず、社会、経済から個人の行動や価値観に至るまで、多方面に影響を与え、様々な議論を生み、国際的な課題にも発展することとなっている。

このような予測困難な時代を生きる子どもたちには、目の前の事象から解決すべき課題を自らが発見し、主体的に考え、多様な立場の者と協働的に議論し、納得解を生み出していく力が必要であり、新学習指導要領においては、そのための資質・能力を育成することが求められている。また、デジタル化やオンライン化が大きく進む中で、学びを保障する手段として、オンラインによる学習指導等が日常のものとなりつつある。さらに、社会全体でDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速しており、ICTは学校教育を支える基盤的なツールとして定着が進んでいる。教育現場では、知・徳・体を一体で育む日本型学校教育を発展させ、未来を創造する子どもたちのための「令和の日本型教育」の在り方を検討していくことが急務となっている。

国のこうした動きを踏まえ、本県では、愛媛県教育基本方針・重点施策の一つとして「安全・安心で充実した教育環境の整備」を掲げて、災害や感染症の発生等による緊急時にも、1人1台端末等を活用することにより、子どもたちの学びを最大限保障するなど、安全・安心で充実した教育環境の整備に努めている。また、「確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成」を掲げて、新学習指導要領を踏まえた教育を推進するとともに、新たに県独自のICT学習支援システムを開発するなど、ICT教育の特長を取り入れ、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導や個別最適な学びの実現などにより、子どもたちの確かな学力の定着と向上に努めている。さらに、「教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化」を掲げて、本格化するICT教育に対応するため、教員のデジタル技術の活用能力の向上を図るとともに、長時間勤務の是正に向けて、ICTの活用などにより学校における働き方改革を推進し、学校組織の活性化に努めている。

本センターには、関係機関との緊密な連携を図りながら、研修や学校支援等の事業を通じて、教職員の資質・能力の向上と生きる力を育む学校づくりを目指し、学校教育を総合的に支援する使命がある。新学習指導要領が、小学校と中学校において全面的に実施されているのに続いて、令和4年度からは、高等学校でも学年進行で実施される中、愛媛の未来を創造する子どもたちの育成を図る学校教育の一層の充実を図るため、本センターの機能を生かした学校教育を総合的に支援する方策を研究するために、本研究主題を設定した。

3 研究の内容

本年度の研究内容は、次のとおりである。

企画開発室の「オンライン講座を活用した効果的な研修の在り方に関する研究」は、ICTを活用した教員研修の実施に関する研究で、教員の職能開発の機会や時間を拡大するため、オンラインの特徴を生かした校内研修や自己研修用の研修教材を開発し、その効果を検証した。その結果、受講者の個別のニーズに沿った研修が受講できる仕組みや、遠隔地であっても容易に相互交流ができる仕組みを利用することで、従来の対面型の研修では難しかった研修効果が得られることを確認した。

情報教育室では、「児童の発達段階を踏まえたプログラミング教育に関する研究－愛媛県ICT教育推進ガイドラインを踏まえた実践を通して－」の題目で研究を行った。令和3年3月に策定された「愛媛県ICT教育推進ガイドライン」を踏まえ、ICT活用スキルの向上のために、小学校段階で実施されるプログラミング教育について自己研修用教材を開発した。また、同ガイドラインで例示されている活動評価システムを応用することにより、同一の基準において、児童の自己評価と教員の見取りとを比較、分析することで、個人内評価の充実や学習の調整力の育ちへの支援につながる可能性があることについて論じた。

教科教育室では、「『主体的・対話的で深い学び』の視点での授業改善に関する調査・研究」の題目で研究を行った。2年目の研究となる本年度は、校内研修の充実を支援するために、授業改善に資する研修パッケージを作成し、その有効性を検証した。研修パッケージは、学校の負担を増やさずに校内研修を充実させるため有効であり、教員が自信を持って授業改善に取り組み、研究授業で全教員が共有して授業実践の蓄積を図るなど、学びの質を高める授業改善につながることを確認することができた。

また、特別支援教育室では、「知的障がい教育における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善に関する研究－生活単元学習の授業づくりを通して－」の題目で、知的障がい教育における生活単元学習の授業に焦点を当てて研究を行った。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うために、昨年度は協力学校でのアンケート調査結果を基に、目指す授業づくりの課題や授業改善のポイントを明らかにし、本年度は、授業改善の具体的な方法である「単元・授業計画の考え方」を検討し、協力学校の小学部及び中学部における二つの授業実践を通して、その妥当性を検証した。

生徒指導等の分野では、教育相談室が、「いじめの早期対応に関する研究」において、いじめの早期対応に関するアンケートを実施し、その結果から課題を把握することを試みた。この中で、児童生徒、保護者と関わる際の教育相談のスキルの向上や、教職員間でいじめの捉え方について共通理解を図ることなど、いじめの早期対応に関する課題を把握し、校内研修資料の作成の方向性を検討することができた。教育相談室では、来年度も継続して本研究に取り組むこととしている。

4 研究成果の還元

各研究の成果については、調査・研究発表会及び研究紀要において公表し、研究成果物は、本センター各種研修講座等で活用するとともに、ホームページにおいても情報提供を行う。

また、今後、研究成果を踏まえた、研修事業・学校支援事業・相談事業を本センターにおいて実施し、学校教育を総合的に支援することで、本県各学校及び教職員の教育活動の更なる充実を図り、未来を創造する子どもたちに「生きる力」が育まれることを願っている。

5 研究構想

「^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」の実現 ～愛媛の子どもたちのために～

教育基本法第9条

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

- 教育振興基本計画**
- 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
 - 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
 - 3 生涯学び、活躍できる環境を整える
 - 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
 - 5 教育政策推進のための基盤を整備する

- 学習指導要領**
- 社会に開かれた教育課程の実現
 - 育成を目指す資質・能力の明確化
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - 学習評価の充実
 - 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導
 - カリキュラム・マネジメントの確立

- これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について**
- 時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結び付け構造化する力
 - アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語活動の早期化・教科化、ICTの活用、特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量
 - 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力

<研究主題>

未来を創造する力を育む 学校教育への総合的な支援

- <研究題目>
- 1 オンライン講座を活用した効果的な研修の在り方に関する研究
 - 2 児童の発達段階を踏まえたプログラミング教育に関する研究
－愛媛県ICT教育推進ガイドラインを踏まえた実践を通して－
 - 3 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に関する調査・研究
 - 4 いじめの早期対応に関する研究
 - 5 知的障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に関する研究
－生活単元学習の授業づくりを通して－

総合教育センター

学校支援	研修	研究	相談
学校における教育活動全般に関する教職員の取組の支援	基礎研修の充実・強化と時代の要請を踏まえた研修の創造・実施	国や県の教育施策との連動と教育現場からの要請への積極的な対応	高度な専門性を生かした、多様な事例への迅速で適切な対応

第六次愛媛県長期計画 愛媛の未来づくりプラン

- 未来を拓く子どもたちの育成
- ・魅力ある教育環境の整備
 - ・確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進
 - ・特別支援教育の充実
 - ・教職員の資質・能力の向上

愛媛県教育振興に関する大綱

- 1 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 未来を拓く子どもたちの育成
- 4 特別支援教育の充実
- 5 人権・同和教育の推進と児童生徒の健全育成
- 6 生涯学習の推進とスポーツ・文化の振興

愛媛県教育基本方針

- 1 社会総がかりで取り組む教育の推進
- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成
- 4 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- 5 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
- 6 特別支援教育の充実
- 7 互いの人権を尊重する教育の推進と児童生徒の健全育成
- 8 文化財の保存・活用の推進

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

教育センターの使命

関係機関との緊密な連携を図り、教職員の資質・能力の向上と生きる力を育む学校づくりを目指し、学校教育を総合的に支援する。